



平成30年1月31日

各位

会社名 日進工具株式会社
 代表者名 代表取締役社長 後藤 弘治
 (コード番号: 6157 東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理部長 田島 寛
 (TEL. 03 - 3763 - 5672)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月31日に公表した平成30年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,240	百万円 2,290	百万円 2,310	百万円 1,630	円 銭 130.36
今回修正予想(B)	9,550	2,500	2,530	1,750	139.96
増減額(B-A)	310	210	220	120	
増減率(%)	3.4	9.2	9.5	7.4	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,825	2,013	2,026	1,420	113.63

平成29年1月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,000	百万円 1,910	百万円 1,380	円 銭 110.37
今回修正予想(B)	8,280	2,090	1,480	118.36
増減額(B-A)	280	180	100	
増減率(%)	3.5	9.4	7.2	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	7,492	1,569	1,143	91.44

平成29年1月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

2. 業績予想修正の理由

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連では2017年の国内新車販売が前年比5.3%増となる等総じて底堅く推移したほか、輸出も持ち直す動きとなりました。また、電子部品・デバイス関連におきましても、新型スマートフォン向けやITサイクルの改善等から堅調が続いたほか、増産や人手不足に対応するための設備需要から、半導体製造装置や一般機械、ロボット関連等も活況となりました。このような環境のなか、超硬小径エンドミルの需要は概ね順調に推移いたしました。ユーザーの精密・微細加工ニーズの高まりから、小径サイズの製品の割合が増え、CBNやPCDを用いた高付加価値製品も好調となっております。期初から足元までにおいて、生産量の増加に伴う設備稼働率の向上に加え、小径サイズや高付加価値製品の増加もあり、売上高、利益ともに想定を上回ったことから、業績予想を修正いたしました。

なお、個別業績予想の修正に関しましては、上記と同様の理由によるものであります。

以上